

第3回摂津市総合計画審議会 議事録

日時：平成21年11月27日（金）14：00～16：00

場所：摂津市立男女共同参画センター 3階 大会議室

議事次第

1. 議事

- (1) 第4次摂津市総合計画基本構想（案）について
- (2) 第4次摂津市総合計画基本計画（案）について

2. その他

1. 議事

- (1) 第4次摂津市総合計画基本構想（案）について

久会長

本日も活発なご意見をいただきたい。まず、第4次摂津市総合計画基本構想（案）について事務局より説明いただく。

事務局

資料1「第4次摂津市総合計画基本構想（案）〈修正版〉」について説明。

久会長

ありがとうございました。基本構想（案）の第4章は次回以降の部会においてご意見をいただければと思う。第3章までの部分についてご質問・ご意見があればいただきたい。

榎谷委員

5ページの(2)「少子・高齢化の時代」の中に、グローバル化についての記述がある。しかし、少子・高齢化の中にグローバル化を入れるのは無理があるのではないか。人材の資源活用という観点から入れているように思う。そうした側面もあるが、市民社会のなかで様々な要素が入ってくることに對し、それを排除しないような社会の作り方を考えることが大切になってくる。地域コミュニティを再生していくうえでも意識していかなければならないことであると思う。人権に関わる問題でもあり、あるいは、時代の趨勢としての捉え方の問題でもあると思うので、国際化やボーダレスといった内容で項目を別立てすべきだと思う。

事務局

策定の背景となる時代潮流について、当初は「グローバル化」と「経済情勢」を新たに加えた7本立てにしていた。しかし、グローバル化については、経済のグローバル化を念

頭に人口減少が低成長をもたらすことから、(2)「少子・高齢化の時代」に入れさせていただいた。もう一度事務局で精査したい。

榎谷委員

この書き方では矮小化されているように感じる。

久会長

事務局で内容を精査し、もう一度提案していただきたい。

紅谷副会長

私もここにグローバル化の内容が記載されていることには違和感を覚える。もし、どこかの項目に入れるのであれば3ページ(1)「経済低成長・成熟化の時代」だと思う。

また、3ページ(1)「経済低成長・成熟化の時代」の内容についても少し違うのではないかと感じている。リーマンショック以降の日本の影響を述べるのであれば、経済のグローバル化や新型インフルエンザの拡大などの話をまとめたうえでグローバル化とすべきなのではないか。

経済の低成長・成熟化の話は、日本独自の話であり、それは人口構造に基づくことが多い。したがって、この内容と少子・高齢化の話と一緒にし、経済情勢とグローバル化を分けたほうが分かりやすいのではないかと思う。また、グリーンニューディールはもともとアメリカの政策であり、日本国内の政策として打ち出すことには違和感がある。

宮田委員

18 ページ第2章「めざす将来像」について、前回の審議会で意見を述べ、今回、タイトルは修正していただいている。しかし、中身の文章については修正されていない。タイトルと中身の整合性を図っていただきたい。

事務局

中身の文章についても修正させていただきたい。

服部委員

9 ページ(6)「地方自治の時代」について、市民参画については述べられているが、市民ニーズをどのように把握するかという内容を追加していただきたいと思う。

久会長

今後、市民ニーズだけではなく、地域資源もうまく活用していかなければならない。市の独自の発想で自治を進めていくことが今後の地方自治では重要である。そのあたりも追加しながら、書き方を工夫していただきたいと思う。

石川委員

21 ページ第3章「都市のフレーム」の目標人口について、今後、超高齢社会に突入していくことを考えた際、65歳以上という大きなくくりではなく、前期・後期高齢者に分けて計上していただいた方が高齢化問題を考えやすいのではないかと思います。

事務局

前期・後期高齢者に分けて表現することは可能である。対応については事務局で検討させていただきたいと思う。

久会長

目標人口における高齢者の数値は、推計の推計となっている。今後の施策展開を含めて一度検討いただきたい。

服部委員

15 ページ第1章「まちづくりの理念」について、(2) 人間基礎教育については日付が入っていない。これは新しくつくられた文章なのか。

事務局

内容については以前から言われていたものである。文章については、5つの心を大切にすると人間基礎教育について再構成し、書いたものである。

久会長

それでは、今いただいた意見を事務局で検討し、第2次の修正版を提案していただきたいと思う。

今後、部会が始まり基本計画を検討していただく際にバランスを見て内容をチェックする機会があると思う。一先ずこの修正案で進めさせていただきたい。

(2) 第4次摂津市総合計画基本計画（案）について

久会長

続いて第4次摂津市総合計画基本計画（案）について、事務局から説明いただきたい。

事務局

資料2「第4次摂津市総合計画 施策体系（案）」、資料3「第4次摂津市総合計画基本計画 様式と考え方」、資料4「第4次摂津市総合計画基本計画 記載サンプル」について説明。

久会長

事務局から、施策体系と基本計画の（案）をご説明いただいた。基本計画については、統一の様式を使って議論を進めていく。なお、資料4はサンプルということなので、施策の内容については、今後、部会でご検討いただくことになる。

まず、資料2「第4次摂津市総合計画 施策体系（案）」についてご質問などあれば発言いただきたい。

杉本委員

具体的な分け方について意見を言える段階ではないが、各部会で検討する際に、温暖化対策など新たな施策を追加することは可能なのか。

事務局

施策体系については、現在行政で検討させていただいたものをお示ししている。これは部会の審議において変更・修正していただいて結構である。

久会長

内容や名称については部会で検討するということで進めさせていただきたい。

私からも一点意見を述べさせていただく。施策番号23・24にある「環境衛生」という言葉はあまり使わない。通常は地球環境と生活環境というまとめ方がある。部会で検討していただきたい。

また、施策1・2にある「市民参画」という言葉も市民参加をより進めるという観点から「市民協働」の方がよいのではないかと思う。市民が参加するだけでなく、市民と行政がパートナーシップを組んで進めていく時代である。これも部会で検討いただきたい。

古谷委員

施策は基本構想に対応していると思うが、基本構想に述べられるグローバル化を反映する施策がこの中にはないように思う。こうした項目について、部会の中で提案していくことは可能なのか。

久会長

先ほど事務局から説明があったように、内容の加筆・修正は部会で自由にやっていただければと思う。ただ、本日、ご自身が担当する以外の部会の内容について、ご意見を言っていただければ、部会の議論も充実すると思う。

宮田委員

施策42「生涯学習」について、生涯学習の機会を提供するためには人材の育成が必要である。人材育成についての項目を追加すべきではないか。

久会長

事務局で検討いただき、項目を追加することが難しいようであれば部会でご回答いただければと思う。

事務局

人材育成については生涯学習に限ったことではないと考えている。ある施策のみ人材についての項目をたてるのはどうかと思うので、事務局で一度検討させていただきたい。

久会長

今までの議論を参考にして、部会までに事務局で検討していただきたい。

続いて、資料3「第4次摂津市総合計画基本計画 様式と考え方」(フォーマット)についてご意見をいただきたい。

私から一点質問させていただく。「施策の展開」について◎と○は今後10年間の計画においてどのような位置づけになるのか。また、「施策の展開」と「特色や魅力のある取組」との関係はどのような位置づけになっているのか。ご説明いただきたい。

事務局

まず、施策の展開における◎と○についてであるが、現計画は網羅性があるもののメリハリがない。そこで1つの施策を展開する中でも、次の10年間に特化する取組みについては◎をつけている。◎をつけた取組みは、市政の基本方針にもつながってくる。限られた予算、人員を考慮したうえで重点化すべき取組みとして◎をつけている。ただし、○の取組みをやらないという意味では決してない。こちらは通常どおり取り組んでいく業務という位置づけである。

また、摂津市の特色や魅力のある◇の取組みについては、市民会議や庁内会議において摂津市の特色や魅力を探していこうという意見があり、今後、特色や魅力にしていこうと考えている取組みとして書き込んでいる。内容について現時点では疑問な箇所もあるが、特色や魅力となるものは重点的な取組みにもなりうることから、今、実施している取組みも含めて、本当に特色や魅力なのかを部会で議論していただきたい。

久会長

危惧しているのは、部会に分かれた際にすべての施策に◎をつけたくなるということである。数を決めておくなど、◎について全体会でもう少しイメージを共有しておくべきかなと思っている。

小林委員

今、国では事業仕分けが行われている。摂津市も今回の総合計画において、今後10年間を見据えた際、事業の整理と縮小が大切になると考えている。予算や職員がカットされる

現状で、事業だけがが増えていくと職員はパンクしてしまう。事業は重要な部分に絞るべきだと思う。◎をたくさんつける必要はない。

久会長

◎の数はできるだけ抑えた方がよい。部会の中で検討を進めていきたいと思う。

杉本委員

自治体の総合計画をつくる際にやむを得ないことではあるが、各分野の担当セクションが異なっている中で様々な施策が出てきているように思う。例えば、市民会議提言書で「愛着が持てる都市景観を育む」という提言があり、その中では都市景観、都市基盤、緑、水辺など様々な分野の内容が入っている。市民参加のもと、職員数が少なくなっていく中で、各セクションから出されたものをまとめて1つのシンボリックな施策にできればと思っている。

久会長

この点についてはどのまちの総合計画でも迷っている。各施策レベルで書くと連携が見えてこない。たとえば、ある市では重点プロジェクトとして、施策を横串で書くということもある。

事務局

横の連携については今後、考えていきたいと思う。新総合計画から見た組織づくり、簡素で市民の皆様に分かりやすい組織づくりをめざしている。しかし、具体的に機構改革を行った後に残った部分をどうするかということについては、現時点ではお答えできない。

平成18年に「子どもの安全安心都市」を宣言した際、道路や交通安全、学校教育施設などの各担当課、我々政策推進課など10数課が集まり議論を行った。今、久先生からご意見いただいたように重点プロジェクトというのも1つの考え方だと思うので、今後、予算編成も含めて考えていきたいと思う。

久会長

摂津市はなかなか売り出しにくい。イメージアップを図るために、たとえば、駅前を整備する、ホームページを整備しインターネットで情報を発信するなど、施策を組み合わせるアイデアで摂津市を売り出していけたらいいと思っている。部会でも議論いただきたい。

他にご質問などはないか。

紅谷副会長

資料3・4の様式はそのまま基本計画となるのか。それともこれはあくまでもベースという位置づけなのか。様式ありきだと議論が縛られるのではないかと思うが。

事務局

現在この様式で記入を進めている。冊子にする際、多少レイアウトを変更することも考えられるが、ほぼこの形式になると思う。

紅谷副会長

施策が多いものも少ないものもある。様式に収まることを重視すると施策が記載されなかったり、逆に重要でないことが記載されたりすることも考えられる。

また、施策について協力する担当部を書いてもよいと思う。行政内部の連携を示すためにも。

久会長

ありがとうございます。今見ているとそれぞれ書いている施策のレベルがまちまちだと思う。事務局としては、総合計画全体のバランスを取る必要があるため、施策を統合したり、分割したりということもあると思う。施策のレベルを全体的に見て、部会で精査いただくとともに、事務局でも精査をお願いする。

切東委員

他の審議会などでも一定の様式を用いて議論しているので、方法としてはよいと思う。ただ、どれも財源についての記載がない。限られた資源の中でどのように施策の優先順位をつけていくのか。財源に関する記載がないと優先順位を考える際に迷ってしまう。財源については最終的にこの様式に載せるのか。

また、部会では個々人の関心のある分野について議論を行い、事務局にまとめていただくのがいいのではないかと思うのだが。

久会長

部会ではそれぞれ専門性を近い分野について議論を行っていただく。

施策の展開の中で、財源的な裏づけは必要なかどうか。

事務局

財源については、財政計画との整合性が必要ということで現在、財政当局と議論を行っている。ただ、施策と財源を1つずつ対応させていくことはできないので、総合計画内で財源の枠との整合性を考えていきたい。

また、各施策にどれぐらいの予算を振り分けるということではできておらず、現状では難しいと考えている。

久会長

実施計画の中で予算の位置づけを考えるという認識でよいのか。

事務局

その認識で結構である。

久会長

現在、交野市も新しい総合計画の策定作業を行っているが、詳細な施策内容については分野別計画に任せようという戦略を立てている。総合計画は基本構想+ α ぐらいの位置づけで策定を進めている。今回、摂津市はそこまで明確に区分しないということによいのか。

事務局

各分野の計画はあるが、本市においては現計画で各分野別計画との整合性が問われてきた。実際、整合が取れていない点も多々あった。我々としては、総合計画は今、久会長がおっしゃったように基本構想+ α の簡素なものとし、施策については各分野別計画に任ずるところまでは至っていない。

まずは、施策の中でメリハリをつけることから始めていきたいと考えている。

宮田委員

財源の話は大事であるが、財源を考えすぎると自由な意見が出てこなくなる。まずは、様々な意見を出したうえで、財源との整合性を考えるべきだと思う。

久会長

お金だけで実現していくわけではなく、我々の努力、創意工夫も必要だと思う。

小林委員

部会では事務局が◎や○をつけて提案してきた施策に対して、辞めるべきだという意見を出してもよいのか。思い切って事業縮小という意見も出すべきだと思うのだが。

事務局

事業の縮小・廃止という意見を出していただいても結構である。部会には、実際に施策を担当している課の職員も出席するので、ご意見を言っていただきたい。ただ、現在、国で行われている事業仕分けとは違うことをご理解いただきたい。

久会長

部会では、基本構想の第4章「まちづくりの目標」と、それに関連して資料3の基本計画の「実現している姿」、「施策の展開」の3つの整合性をチェックすることが何よりも大切だと考えている。「施策の展開」の内容だけで必要性、是非を検討してしまう危険性がある。

これまでいくつか施策評価に携わったが、いわゆる「PDCA」における「P（プラン）」

が曖昧なため、チェックできないことがいくつかあった。何のためにやるのかということを見失ってはいけない。「施策の展開」は、「実現している姿」に必要な取組みかどうかという視点で確認していただきたい。

福井委員

「施策の展開」について、たとえば市民プールがほしいなど「こういうことをしてほしい」という要求については、この部会で再度提案してよいのか。それとも提案はできないのか。

久会長

「プールをどうするか」というのは具体的な事業に入る。したがって、施策 50「スポーツ・レクリエーション活動へ参加・参画しやすい環境づくりをすすめます」では、スポーツへ参加・参画しやすい環境をすすめるにあたって、どのような施策展開をするかを議論しなければ收拾がつかない。また、事務局としても今後の展開が難しいものとなる。施策の展開に必要なことを考えながら議論をさせていただきたい。ただ、市民プールの話がしっかり伝えられるような施策展開をしなくてはならないので、これは部会で議論をいただければと思う。そのため、事務局には「施策の展開」で書かれている取組みのレベルを揃えていただきたい。

それでは、部会の進め方について、事務局より説明いただきたい。

事務局

資料5「摂津市総合計画審議会 部会 担当」、資料6「摂津市総合計画審議会 部会 審議予定」について説明。

久会長

次回以降の部会の担当、進め方についてご意見がある方はご発言いただきたい。

福井委員

第1部会（教育・文化など）に入れていただくことはできるか。

事務局

部会の構成は、人数と皆様の専門性を考えて検討した。最終的には委員の皆様にご話をしただいて、決めていただけたらと思っている。

日野委員

各部会を進めていく中で、他の部会の状況は公表いただけるのか教えていただきたい。

事務局

他の部会に対してもいろいろと要望があると思う。審議していただきたい内容があれば言っていたら結構である。また、毎回、各部会が出た意見をまとめ、全委員に提供していく予定である。

久会長

お互いの部会で調整しなければいけないところは、事務局を通じて情報共有していただければと思う。また、第7回までの部会後に全体会があるので、自分の担当ではない部会についてご意見があれば、そこでも十分に議論していただければと思う。

事務局

今後の日程であるが、3回の部会では少ないということで、本来、全体会だった第7回を部会にさせていただき、来年4月以降に全体会を1回追加させていただきたい。

また、資料6「摂津市総合計画審議会 部会 審議予定」にあるとおり、第5回目と第6回目が非常に詰まっている。先ほど、部会の審議内容について公表すると言ったが、ここでは日程的に厳しいところがあるので、少し遅れるかもしれないがご了承いただきたい。

久会長

最後に事務局より次回の連絡をお願いします。

事務局

今回の審議会（第1回部会）は12月18日（金）に開催する。場所及び審議内容は資料6「摂津市総合計画審議会 部会 審議予定」のとおりである。会場が分かれるのでご注意ください。

また、第2回の議事録について、ご意見があれば終了後にご連絡いただきたい。ご意見がないようであれば、確定版としてホームページに掲載させていただく。

久会長

これをもって本日の審議を終了とする。ありがとうございました。

以上